

令和 7 年度福島・吉岡漁業協同組合通常総会祝辞（令和 7 年 3 月 3 1 日）

あらためまして、おはようございます。

今年もまた総会へご案内を頂き有難うございます。

多くの皆さんの出席のもと通常総会が盛会裏に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

組合員の皆さんが基幹産業である漁業振興のためにご尽力いただいておりますことに心から感謝と敬意を表します。

日頃から、議会活動にご理解を頂いておりますことに対しましてこの場を借りまして厚くお礼を申し上げます。

毎月「組合だより」を見せていただいておりますし、「町民と議員の懇談会」「常任委員会の所管調査」等で漁業関連の情報や意見を伺っておりますが、まだまだ十分ではなく、さらに、お話を聞く機会を創っていかねばと思っております。

町では、「第 6 次総合計画」をスタートし、「持続可能なまちを共に創る」をテーマに、基本方針の第 1 に「産業を活性化し、地域資源を生かすまちづくり」を掲げておりますが、温暖化による環境変化、少子高齢化・人口減少等による多くの課題が想定されます。

漁業振興につきましても、念願待望の種苗センターが稼働し、種苗生産の効率化が図られておりますが、作業省力化・共同化の方策、海水温の上昇にたえる種苗の開発、回遊魚の減少・変化等、課題も多く、解決にむけては、漁組・町がさらに連携を深め取り組んでいかなければなりませんし、議会としてもしっかり対応していきたいと思っております。

阿部組合長を中心に組合員が一致協力し、漁業組合が益々ご発展しますことと、組合員皆様のご健勝、ご多幸をご祈念し、措辞ですがお祝いの言葉といたします。ありがとうございました。